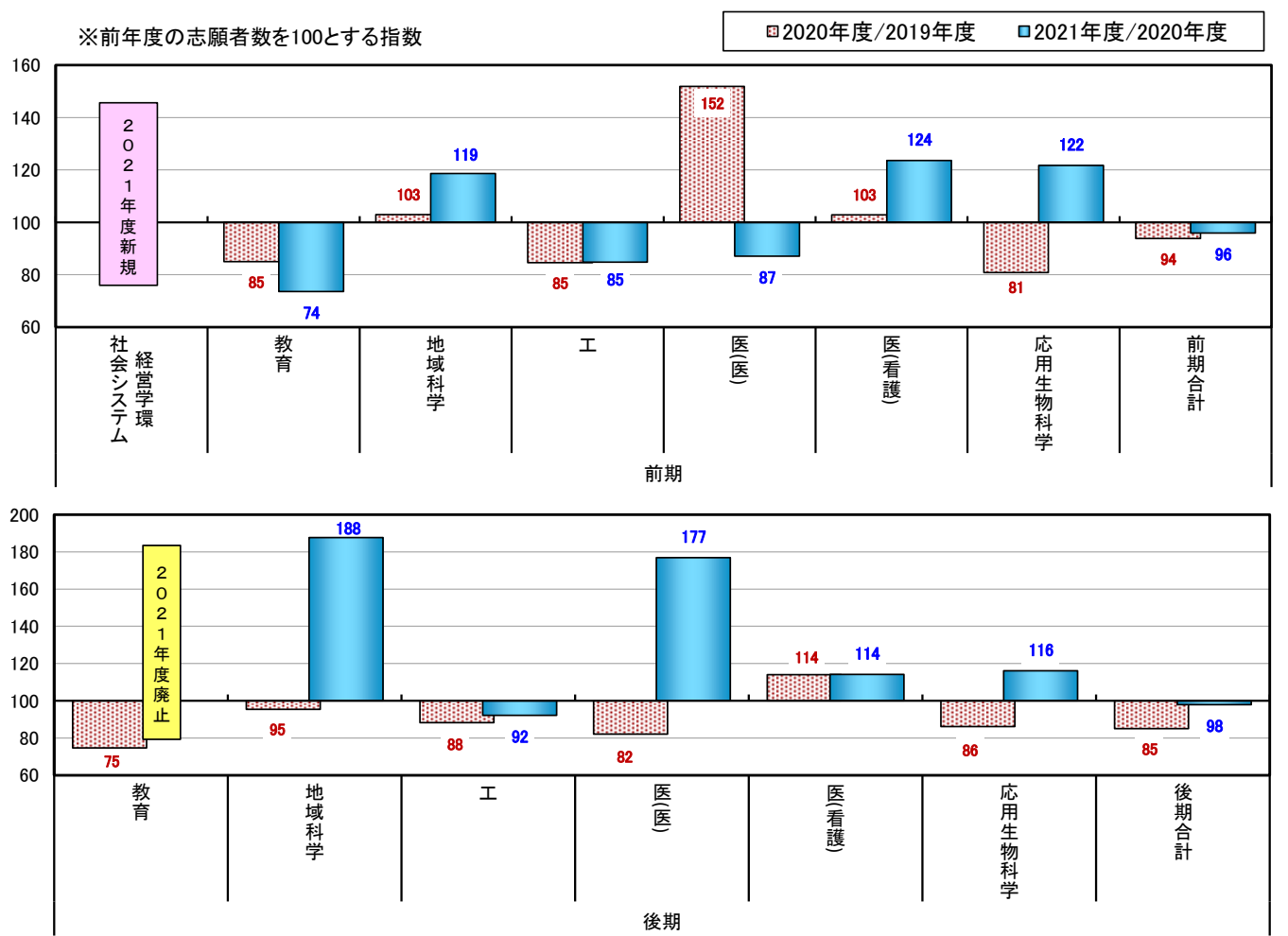


2021年度入試状況分析【国公立大】

岐阜大：前期はやや減少、後期は微減だが廃止の教育を除くと大幅増加 前期：-92人 後期：-68人



入試変更点

学環新設：社会システム経営学環
 選抜方法：後期廃止…教育(学校教育/国語、数学、理科、音楽、保健体育、技術、家政、英語、心理、特別支援)
 募集人員：教育(学校教育/国語)…<前>19人→16人、<後>3人→0人
 (学校教育/社会)…<前>28人→22人
 (学校教育/数学)…<後>6人→0人
 (学校教育/理科)…<前>20人→23人、<後>7人→0人
 (学校教育/音楽)…<前>7人→8人、<後>3人→0人
 (学校教育/保健体育)…<前>7人→13人、<後>7人→0人
 (学校教育/技術)…<前>6人→8人、<後>4人→0人
 (学校教育/家政)…<前>8人→6人、<後>2人→0人
 (学校教育/英語)…<前>14人→17人、<後>7人→0人
 (学校教育/学校教育-心理)…<前>8人→7人、<後>4人→0人
 (学校教育/学校教育-教職基礎)…<前>8人→10人
 (学校教育/特別支援)…<前>15人→13人、<後>3人→0人
 個別試験：教育(学校教育/国語、社会、家政、英語、学校教育、特別支援)<前>
 …(国 or 数 or 外)→2 →面+(国 or 数 or 外)→2
 (学校教育/数学、理科、技術)<前>…数+(国 or 外)→数+面+(国 or 理 or 外)
 (学校教育/音楽)<前>…実+(国 or 数 or 外)→面+実+口述試験+(国 or 数 or 外)
 (学校教育/保健体育)<前>…実+(国 or 数 or 外)→実+面

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は92人(96)のやや減少で3年連続減少、新設の社会システム経営学環を除くと(92)の減少。後期も68人(98)の微減だが3年連続減少、ただし後期廃止となった教育を除くと(123)の大幅増加。

<前期日程>

○新設の社会システム経営学環は、志願者数83人で志願倍率は5.5倍で、前期全体の志願倍率3.2倍を上回った。
 ○後期日程を廃止した教育(74)は、3年連続大幅減少。課程・講座・専攻・コース別では、(学校教育/学校教育-教職基礎)(160)は2年連続大幅減少の反動に加えて、募集人員の増加(募集人員の前年度対比指数125)の影響も加わり、1.6倍の激増、(学校教育/特別支援)(128)も大幅増加で、募集人員の減少(募集人員の前年度対比指数87)も加わり、志願倍率は1.7倍→2.5倍へアップ。一方で、(学校教育/美術)(57)、(学校教育/家政)(57)、(学校教育/理科)(57)、(学校教育/技術)(63)、(学校教育/国語)(67)、(学校教育/心理)(75)は大幅減少。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

- 地域科学**(119)は、大幅増加で前年の微増に引続き、2年連続増加。
- 工**(85)は、2年連続大幅減少、2019年度のやや減少を加えて3年連続減少。学科・コース別では、(電気電子・情報工/電気電子)(118)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(機械工/知能機械)(106)、(化学・生命工/物質化学)(104)はいずれも前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。一方で、(社会基盤工)(48)は半減以下の大幅減少で、志願倍率は2.3倍までダウン。また、(機械工/機械)(64)、(化学・生命工/生命化学)(77)、(電気電子・情報工/応用物理)(85)はいずれも2年連続大幅減少。
- 医(医)**(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。志願倍率も11.1倍→9.6倍にダウン。
- 医(看護)**(124)は、大幅増加で2年連続増加。
- 応用生物科学**(122)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科・課程別では3学科・課程の全てが増加で、(生産環境科学)(129)、(応用生命科学)(126)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。(共同獣医)(108)は増加だが、3年連続減少の反動は小さく、志願倍率は3.7倍と2年連続で4倍を下回った。

<後期日程>

- 地域科学**(188)は、2年連続減少の反動で1.8倍以上の激増。
- 工**(92)は、減少で2年連続減少。学科・コース別では、(社会基盤工)(138)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(電気電子・情報工/電気電子)(103)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(電気電子・情報工/応用物理)(59)は大幅減少、(化学・生命工/物質化学)(83)は2年連続大幅減少、(化学・生命工/生命化学)(84)は大幅減少で、3年連続減少。
- 医(医)**(177)は、前年度大幅減少で2年連続減少だった反動で1.7倍以上の激増。志願倍率45.6倍は近年では募集人員が35人だった2013年度の52.1倍以来の高倍率。
- 医(看護)**(114)は、2年連続増加。
- 応用生物科学**(116)は、2年連続減少の反動で大幅増加。課程別では、(生産環境科学)(124)は大幅増加で志願倍率は10.2倍と2013年度以来の10倍を上回った。(応用生命科学)(109)は増加で2年ぶりに志願者数が100人に達した。